



野崎小だより 3月号①

令和2年3月2日 和歌山市立野崎小学校



「感謝の気持ちを忘れずに」

校長 川本 智之

令和元年度も残り一か月となり、今年度最後の野崎小だよりとなりました。この一年間、保護者・地域の皆様方には、本校の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

子どもたちは、2月末までの3学期でありましたが、この一年間で成長した足跡を振り返りながら、まとめと新たに始まる年度の進学・進級に向けた準備をしてまいりました。この一年間、子どもたちは様々なことを経験し、学び、友だちと切磋琢磨しながら、大いに成長することができました。新しい学年での更なる成長の一步一步が、とても楽しみです。

今年「野崎小学校の顔」として、学校をリードしてきた43名の6年生も、間もなく本校から巣立っていきます。体育祭での組体操や音楽祭での合唱など、いろんな場面で立派に成長した姿を見せてくれました。そのいきいきとした姿はとても頼もしく感じました。卒業する6年生と保護者の皆様に心からお祝いを申し上げますとともに、これまでのご支援、ご協力を賜りましたことにお礼申し上げます。

この一年間、野崎小学校180名の子どもたちは、多くの人との出会いがありました。その多くの人から様々なことを教えていただき、また経験させていただきました。私たちは、いつも多くの人に支えられ、見守られながら成長しているということを、忘れず大切にしていきたいと思います。

自分の周りのすべての人に、またその思いに、いつも、いつまでも感謝の気持ちをしっかり持てる子どもたちを育ててまいります。

『本当にだいじなものは、隠れて見えない

ささやかすぎる 日々の中に かけがえない喜びがある

生まれてきたこと 育ててもらえたこと 出会ったこと 笑ったこと

そのすべてに ありがとう この命に ありがとう』

《いのちの歌 Miyabi：作詞》

一年間ありがとうございました。来年度もよろしくお願ひいたします。